

供用を開始したばかりのメロープラザで雨漏り発生

6月16日新病院建設市民説明会

メロープラザを会場に新病院建設事務組合主催で市民説明会が開催されました。新病院建設も基本構想、基本計画が策定され、現在は基本設計がほぼ完成の段階にあります。今年6月には予定地の造成事業に着手、23年・24年と建設工事が行われ、25年4月開院のスケジュールで進んでいます。

新病院の院長に内定している名倉英一氏からは挨拶をかねて新病院の果たす機能について、主に脳卒中・心筋梗塞など循環器の救急医療をメインとした病院を目指しているとの説明がありました。

寺尾俊彦前浜松医科大学学長の基調講演では、中東遠地区の劣悪な医療環境をふれたのち、都会と田舎で受けられる医療の差がないようにするため、病院の統合によって先端の医療が受けられる魅力ある病院をつくっていきたいと話されました。

その後、新病院の計画の概要（配置・建物の設計）が事務局より説明がありました。



新病院院長予定者名倉英一氏の挨拶

6月14日民生福祉委員会開催

今回の委員会では付託議案の審査の他、当局より5件の報告事項、2件の資料提供がありました。

そのなかで一番問題となった案件は、完成し供用が始まったばかりのメロープラザに雨漏りが発生、応急対策は施しましたが、今後恒久対策と責任の所在の究明が重要な課題となります。原因は建物上部の壁面のコンクリートにクラックの発生によるもので、応急措置としてシール材の注入、塗装などが行われております。委員会終了後、現地の視察を行い担当者から対応について話を聞きました。



メロープラザの屋上



フライタワー壁面のクラック箇所

高橋よしひろの議会活動通信

2010年6月17日号

袋井市大谷245 TEL・FAX (48) 6100

E-mail: wbs35910@mail.wbs.ne.jp

<http://www.yoshihiro-takahashi.net>

ブログ「美博の東奔西走」更新中！